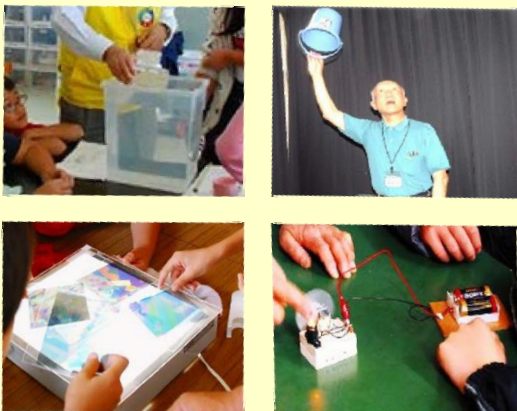


かながわ子ども教室



入会のご案内



NPO 法人 かながわ子ども教室

会員募集!

「かながわ子ども教室」では、小学生を対象として「科学教室」「暮らしの教室」を開催しています。教室数、参加児童数の増加に伴い、新たに会員を募集しています。教室の見学はいつでも歓迎です。紹介者あるいは連絡先(末尾に記載)に連絡してください。

あなたも参加してみませんか?

教室の活動地域

教室開催地域

横浜市・川崎市・鎌倉市・藤沢市・

茅ヶ崎市・平塚市 他

(小学校、地区センター、コミュニティーハウス、学童保育、放課後キッズなど)

活動はボランティアであるので報酬はなし
交通費は実費が会から支給される

遠隔地での活動など

ねんりんピック(全国健康福祉祭)への参加
全国各地(2018年:富山 2019年:和歌山)

川崎青少年フェスティバルへの参加

会議

実行委員会 月1回

運営

当会はボランティア活動であり、会員の年会費、開催教室からの謝礼金、およびいくつかの財団からの助成金により運営されています。先生・サポーター・地区担当などの役割をみんなで分担して活動しています。

会費

入会金: 10,000円 年会費: 5,000円

紹介者からひとこと

紹介者: _____

電話: _____

E-mail: _____

ひとこと

NPO 法人 かながわ子ども教室
ホームページ: <http://kanagawakodomo.com/>
E-mail: kanagawakodomo@gmail.com
☎ 045-491-6351 (広報担当 小島)

かながわ子ども教室 ご案内

理念

『かながわ子ども教室』はシニア世代が知識や経験を活かして「理科好きの子どもを育てる」「子どもの健全な人格形成に寄与する」ことを目的として小学生を対象に「たのしい科学教室」「たのしい暮らしの教室」を開催しています。

開催教室

「たのしい科学教室」

糸でんわ	宇宙
エネルギー	液晶
海洋	気象
空気	子どもの化学
地球	電気
天体観測	動画
ひかりと色	プラスチック
まわれ！浮沈子	ロボット

「たのしい暮らしの教室」

お金	世界
日本の行事・お祭り	
日本の食べ物	私たちと水

会員からひとこと

「少子化の時代」

少子化の時代、子どもは宝物。よりよい成長をして貰うために、「子ども教室」を2004年に立ち上げました。当初、理科好きになるように6つの教室、中2～1、小6～5を集める積りでしたが、難航。その後、横浜市の放課後キッズ等を含め、今は年間150回、科目も21とバラエティに富んだ中味になりました。

現在一番の問題は会員の高齢化に伴い先生役とサポーター役のメンバーが不足気味になっていることです。是非、新しい方々の参加を願っています。

(83才・元電線メーカー勤務)

「自分の立ち位置の確保」

入会のきっかけは4年程前の退職間際に、以前の職場の上司から話を伺い、退職後特に何もする事が無かったので、誘われるまま半分暇つぶしのつもりで「かながわ子ども教室」が開催する教室を見学に行きました。

何回か見学を続けているうちに他の会員皆様の「教室」に対する真剣な取組姿勢や創意工夫に感動し、実験により新しいものを発見した時や工作により自分の物が出来た時の子供たちの目の輝きに魅了され入会をいたしました。

現在主たる活動は会計事務ですが、理科に門外漢の私でも「教室」の子供たちのサポート役として、子供たちの笑顔が見たくて積極的に参加し、子供たちと一緒に楽しんでいます。

今では、この会は退職後に何もする事が無かった私にとって、生き甲斐というか自分の立ち位置を確保できて充実した毎日を送っています。

(69才・元金融機関勤務)

「退職後の居場所のひとつ」

友人に誘われ、教室を見学しました。「これなら、内容・程度として自分でも大丈夫」と思いました。時間はいくらでもあったので「退職後の居場所のひとつ」として参加してみることにしました。

電気・光・食べ物など、子ども達と一緒に勉強していると、いつも時間はあっという間に過ぎ、子ども達からは毎回新鮮な刺激を受けています。また、銀行、保険、他のメーカーなど様々な出身者との繋がりができましたがそういったメンバーとの交流は心と体をおおいにリフレッシュさせてくれています。活動後の「一杯」も楽しみのひとつです。

(68才・元化学メーカー勤務)

「社会に役立つ活動」

定年になってしばらく近くの教養センターでの講演を聴きに行ったりしていましたが、何か社会に役立つ活動をしたいと思うようになりまた。これまでの仕事を生かして子どもたちに理科を教えるようなことをと考えると、ネットで探していく中で「かながわ子ども教室」にぶち当たりました。さっそく連絡したところ偶然にも数日後に自宅近くの地区センターで教室があると聞いて見学に行きました。なかなか興味深い教室であり、教室のあとの反省会と称する飲み会にまで参加してみなさんとも意気投合して、次の実行委員会から早速参加しました。2年ほどサポーターとして活動し、その後自分で教えるためのプログラムを考えて実行委員会で承認を得て教え始めました。今では年に10数回の教室で教えて満足いく活動をしています。

(72才・元精密機器メーカー勤務)